

相変わらずの談合情報の処理

★市民と歩む会 河本英敏

質問→市は、談合情報を受け、対応マニュアルに従って、公正取引委員会、警察、岡山県に通報するとともに、関係業者の聞き取り調査を実施した結果、確証がないとして契約議案を議会に提案されているが、提案に当たって市民目をどれ程に意識したか。

答弁→市民の中には、色々な考えがあると思う。警察や公正取引委員会の調査結果が確定するまで事業を凍結出来ない事情もありご理解いただきたい。

質問→旧市内、住宅と農耕地の混在地域で、基盤整備の進んでいない要因は何か。

答弁→市内住宅混在地域では、農地整備を行うと転用の際に制限があり、未整備のまま残っているものと考えられる。



1年間暮らしすブレハブ校舎と自転車置き場

津山の将来像

★津山誠心会議 安東伸昭

質問→T P P参加の有無を問わず、津山市の今後の農林行政について。

答弁→農業は基幹産業であり、将来にわたり持続可能な農業となるよう、守り育てていかなければならない。農地の集積を進め、経営の効率化、生産コストの低減を図り、企業として成り立たせ、そこに雇用の場を創造する。

質問→美作国建国1300年事業を通じ次世代に何を継承・伝承するか。

答弁→先人から引き継がれてきた美作地域内にある豊かな自然や数々の名所・旧跡、歴史や文化を「美作国」をキーワードに地域が連携していける組織体制の確立に努める。

質問→江戸一目図屏風の認知度は。

答弁→東京スカイツリーで販売されている江戸一目図屏風関連商品の売上高(H24年度実績)は、2,031万円。



政策立案と戦略的まちづくりの推進

緑風会 竹内靖人

質問→T P Pに参加をしなくても地域農業を守る事は難しい。逆手にとり戦う

市長→農業、地域づくりに取り組む必要があるのでは。

市長→農林業は市の基幹産業で多面的な機能も有している。将来にわたり持続可能な産業として何としても守り育てていかなければならない。様々な取り組みを有機的に結び付け戦略的な取り組みとする必要がある。

質問→東京での「作州のつどい」への思いは。企業誘致などに結び付けられるか。

市長→まちづくりの原動力と考える。本市に新しい動きが生まれ波及効果につながるものと期待している。総合企画部長→「作州のつどい」は津山広域事務組合が主催し11月15日開催の予定で準備を進めている。



農地・水・環境保全向上対策事業取組地域

合併後の様々な弊害！ 各支所機能の充実

★市民と歩む会 村田隆男

質問→合併10年経過後の各支所の縮小や技師を本庁に移すことが市民目線か。

政府の「第30次地方制度調査会」は総合支所運営で地方交付税拡充を提言。住民サービスの維持が狙いだが当局の見解は。

答弁→合併した区域は窓口機能、緊急対応機能、地域の振興を支援する機能を考えている。答申や国の動向も踏まえ、支所機能は検討したい。

質問→在宅で家族主介護者にヘルパー代の支給をすることで介護難民の解消、介護保険料の引き下げ等につながる。国・県に要望書の提出は。在宅介護を行う上で医療との連携は。

答弁→介護保険制度の根幹に係るもの。調査研究し、国・県の動向も注視し必要があれば要望したい。県は「在宅医療連携拠点事業」等に取り組む。介護と医療の連携に一層の強化を図る。

